

のぞみ会総会 & 定例会

With コロナの中での活動も今年で3年目に入ります。今年度も感染対策をし、対面での定例会を続けます。また、6月から定期的に心理カウンセラーの方に定例会に参加していただきます。初めての試みですが、有意義なものになるように、皆様のご意見をお届けください。

【活動報告】

- 4/9（土） 定例会 14名参加
- 4/23（土） はだの市民が創る男女共同社会推進会議 総会
- 4/24（日） 役員会
- 4/26（火） 秦野市障害者支援懇話会地域共生部門

【連絡事項】

*はだの市民が創る男女共同社会推進会議 フォーラム 2022

6月25日（土）午後2時から（予定）本町公民館 多目的ホール
落語家 林家うん平氏による講演

*障害者支援懇話会地域共生部門 4月26日（火）

- ・広報はだの 12月1日号 障害者週間に合わせて特集記事
市内の障害者数と特性や配慮について掲載予定。
冊子「障害を知ろう」を基にする
- ・災害時の医薬品の備蓄について
災害時における応急物資及び生活必需物資（救急医薬品）の調達については、秦野市薬剤師会と協定があるが、向精神薬について取り決めはない。おそらく精神科病院・薬局も在庫は多く持っていない。被災していない地域からの物資は発災3日以降にならないと入ってこない。
自助として「お薬手帳」は必携する。
- ・地域との繋がりを平常時から作っておくことが大切。
- ・避難行動要支援者の個別避難計画の作成は市町村の努力義務になった。
秦野市では障害福祉課・高齢介護課・防災課が連携し作成に取り組む。
精神1級で希望する方は要支援者名簿に掲載される。

1級以外でも必要性のある人は掲載可能。

- ・警察署生活安全課に家族会の情報を届けられないか。

* 「精神科 コロナ対応に苦慮」朝日新聞 2022.04.23

新型コロナウイルス流行移行、精神科病院でも集団感染が起こり、少なくとも235人のコロナ患者が転院できずに亡くなったという調査がある。

都立松沢病院齊藤正彦名誉院長は「転院させられないなら、行政は外部の医師や看護師を派遣する必要がある」と話す。

またコロナ禍の転院で病院の患者対応が問われるケースもあった。

「最もひどい精神科病院が象徴するものは、病院の恥部ではなく、『我々の心の恥部』だ」。齊藤医師は「自分たちに理解できないものを恐れ、目に見えない所に封じ込めてしまおうとする『人間の性』。これを我々一人一人が克服する必要がある」と話す。

【お知らせ】

会報の原稿を募集中です。次回定例会6月11日（土）までにお寄せ下さい。

【予定】

5/29（日） 役員会

福祉センター 1時半～

6/11（土） 定例会

ぱれっとはだの 1時半～



小耳話

「急募！時給『幸せ』」

息子が散歩の途中、教会の掲示板で見つけたメッセージ。

お金を儲けたい息子は戻って来て「ボランティアは幸せが時給らしい」とがっくり（笑）

「当たり前だ」と母。念のため、教会のサイトを調べると、これは「礼拝メッセージ」。

息子よ、

「神の国の時給は、この世の物質的な豊かさではない、生きる喜びそのもの」なのだよ。



© <http://tigpig.com>